

2020年2月2日メッセージアウトライン「あなたは大切な人、あなたが必要なのです」

聖書箇所：Iコリント12：3～27

タイトル：「あなたは大切な人、あなたが必要なのです」

テーマ：聖霊に導かれて「イエスは主です」と告白させていただいた私たちは、今、キリストの体である教会の一員とされました。パウロは教会を聖霊の賜物の共同体と考え、さらに教会をキリストの体にたとえて、その体の一部分とされている私たちが主にとってどれほど大切な存在であるかを語っています。

私たちは、時には、様々なことに疲れ、自分のことなど誰も心にかけてくれない、自分は必要のない人間なのだというほどに自分を追い詰めてしまうことがあるかもしれません。

もう一度、みことばに立ち返って考え直してみましょう。

私たちが「神の家族」と呼ばれる教会の、また「キリストの体」と呼ばれる教会の一員とされていることの意味を！ 私たちは一匹狼でもなく孤児でもありません。各自いただいている御霊の賜物は何のために与えられているのか、教会に連なる恵みと責務を、そこに置かれている自らの存在の意味を考えてみたいと思います。

1. 私たちを信仰告白へ導いて下さった御霊

*クリスチャンの出発点…「イエスは主です」という告白（3節）

2. 教会って何ですか？（4～11節）

①聖霊の賜物の共同体

*賜物を与えられる目的（7節）

*賜物の種類（8～11節）

②教会は建物ではなく「人」

③教会はイエス・キリストの体（かしらはキリスト）（12～14節）

3. すべての部分が体には必要（21～22節）

①すべての部分が同じだったら、体とはいえない。（15～20節）

*弱く見える部分も

*見苦しい部分も

リビングバイブルによれば（22～25節）

「一番弱く、一番不要だと思われている部分が、実は最も必要なのです。そうです。私たちはむしろ余分と思える部分が与えられていることを、特に喜ぶのです。そして、人目にさらすべきでない部分は、人目から注意深く守ります。一方、見られても良い部分は、もちろん特別な注意を要しません。そのように神様は、あまり重要視されない部分が特別に重んじられ、注意深く扱われるように、体を組み立ててくださったのです。それは、各部分が幸福になり、互いにいたわり合うためです。」

②弱さに対する神の配慮と愛（23～24節）

詳訳聖書によると；

「神はこの表面的には重要でないところの劣った部分に他にまさって大きな名誉（豊かな素質）を与えることによって、からだ全部の諸部分を組み合わせ、調和と均衡を巧みに保たせられたのです。」

*教会が受ける恵み（25～26節）

新共同訳によると；

「それで体に分裂が起こらず、各部分が配慮し合っています。一つの部分が苦しめば、すべての部分が苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」

*「あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。」（27節）

4. 結論

①各部分をつなぐ結び目は「愛」

②「あなた」が主のみからだなる教会には必要なのです！！！！